

# 呼人水芭蕉通信 5号

099-2421 網走市呼人八七ノ木林の家内 TEL FAX 0152-48-2223

網走はさわやかな新緑の季節をむかえました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。呼人水芭蕉通信第5号をお届けいたします。

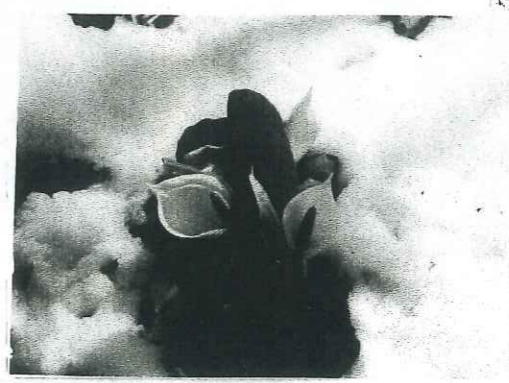
**・護岸工事** 昨年にひき続きヤナギによる水路の護岸工事を行いました。水の流出、景観、安全面で向上しました。農大生、市観光課、前日杭を打ってくださいった高田メンテナンスさん有難うございました。NHKテレビの取材がありました。女性がアナウンサーの方も手伝って下さいました。どうもご苦労様でした。

なお、こうした保全地の整備費として農水省からの助成金50万円が決まりました。「水芭蕉群生地土留めおよび水路改修作業」という名目です。

**・野草** 昨年水を入れたところは水芭蕉以外の野草、オニシモツケ、バイケイソウ、ヨブスマソウなどが減り秋の手入れが楽でした。今年は降雪量が少なく林床の水没面積が減り乾燥を好む野草の進出が懸念されます。



**・ホタル、サケの遡上** 水路のホタルは増えましたが、サケの遡上はほとんど見られません。オホーツク全般に少ない年だったようです。



**・春の降雪** 今年は水芭蕉の開花80%（4月26日）に降雪があり、多くの花が倒れて観光客には残念な年でした。それでも雪の中の水芭蕉という変わった風景をみるこゝろができました。会員の佐藤正博さんの記録写真参照。

**・水芭蕉写真展** 恒例の水芭蕉写真展が「呼人湖畔春のファンファーレ」というタイトルで開かれました。網走湖荘にて。今年にはまた大雪が降る前に、網走カメラ倶楽部の水芭蕉撮影会が行われ、そのメンバーにお願いいたしました。多くの市民や外国からのお客様に楽しんでいただけたと思います。カメラ倶楽部の皆さま有難うございました。

**・保全地周辺の風倒木問題** 国道39号線沿い保全地周辺、「水芭蕉群生地」の風倒木が景観を著しく壊している」として総会に「会で何とかしないか」という提案が出ました。「会に経済的、労働力など負担をかけず会の有志が役所や地主と話し合っ」ということでしたが、会の趣旨は生態系に重きを置くべきで景観にまで手を広げるべきではない」「それほど気にならない」という意見が多く、今回見合わせることにになりました。荒廃した里山の管理という事は今全国的な課題です。原生林の風倒木は容認できても沿道の風倒木はそのままではよいのかと思えます。会員の皆様、ご意見をお寄せいただければ幸いです。（文責 清水敦）



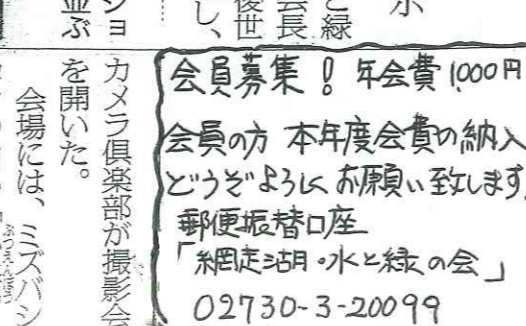
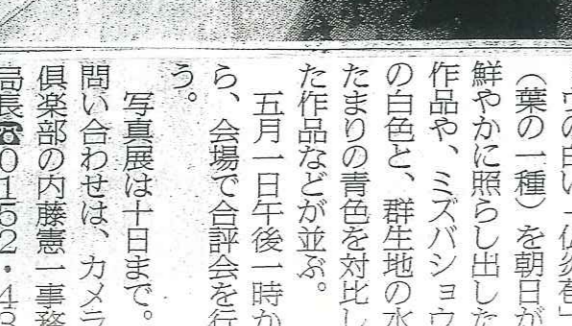
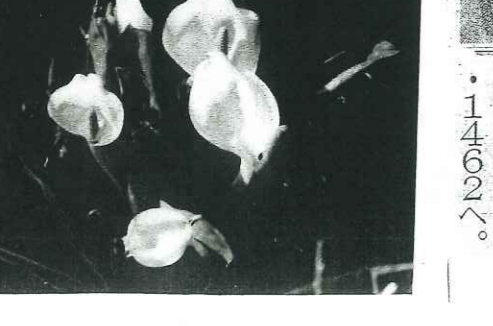
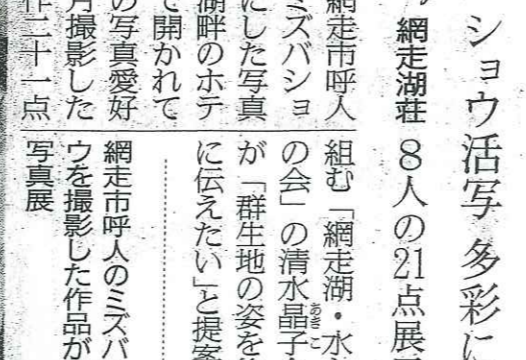
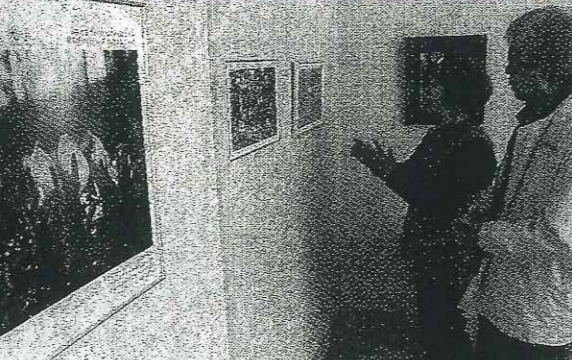
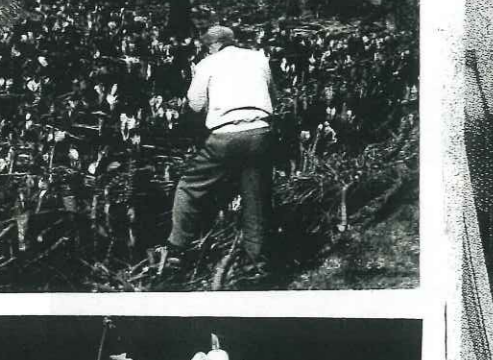
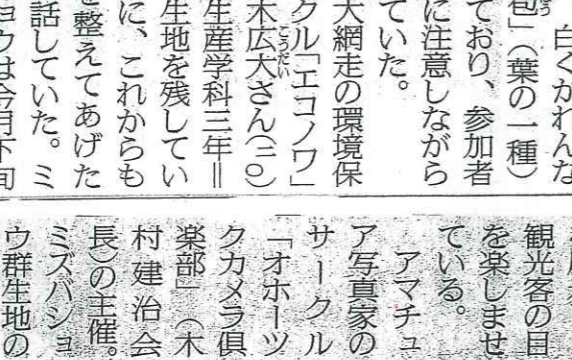
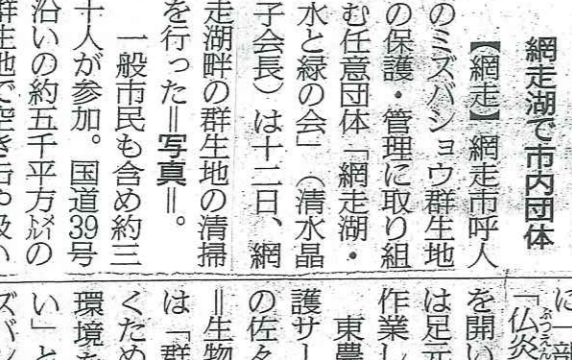
風倒木、三年前に片付けましたがまだたくさん残っています。

北海道新聞 春の群生地清掃参加しませんか

【網走】呼人の網走湖畔のミスバシヨウ群生地を保全管理する、網走湖・水と緑の会(清水晶子会長)は十二日午前九時から群生地の春の清掃を行う。一般参加者を募集している。群生地は国道沿いに広がっており、毎年四月下旬から、ミスバシヨウがきれいな白い姿を見せる。水と緑の会は二〇〇三年から毎年春と秋に群生地の手入れをしている。

ごみ拾いや枯れ枝拾い、崩れた側溝の土留め作業を行う。参加者は長靴や軍手など必要な道具を持参し、群生地保全記念碑前に集合すること。問い合わせは清水会長0152-48-2223へ。

**会員募集!** 年会費1000円  
会員の方 本年度会費の納入  
どうぞよろしくお願い致します。  
郵便振替口座  
「網走湖・水と緑の会」  
02730-3-20099



表の字入れ、護岸工事スナップ

保全地で水芭蕉の説明を聞く観光客

ミズバシヨウ道新 枯れ枝も取り除いた。ミスバシヨウは既に一部、白くかたんな「仏炎苞」(葉の一種)を開いており、参加者は足元に注意しながら作業していた。

【網走】網走市呼人のミスバシヨウ群生地の保護・管理に取り組む任意団体「網走湖・水と緑の会」(清水晶子会長)は十二日、網走湖畔の群生地の清掃を行った。写真。一般市民も含め約三十人が参加。国道39号沿いの約五千平方メートルの群生地で空き缶や吸い殻を拾い、沢に積もった

た枯れ枝も取り除いた。ミスバシヨウは既に一部、白くかたんな「仏炎苞」(葉の一種)を開いており、参加者は足元に注意しながら作業していた。

東農大網走の環境保護サークル「エコノワ」の佐々木広大さん(三〇)は「群生地を残していくために、これからの環境を整えてあげたい」と話していた。ミスバシヨウは今月下旬に見ごろを迎える。

ミズバシヨウ活写 多彩に 道新 網走湖荘 8人の21点展示

【網走】網走市呼人の組合「網走湖・水と緑の会」の清水晶子会長が「群生地の姿を後世に伝えたい」と提案し、市内の写真愛好家八人が今月撮影したばかりの力作二十一点を展示し、観光客の目を惹きつけている。

アマチュア写真家のサークル「オホーツクカメラ倶楽部」(木村建治会長)の主催。ミスバシヨウ群生地の保全に取り

網走市呼人のミスバシヨウを撮影した作品が並ぶ写真展

写真展は十日まで。問い合わせは、カメラ倶楽部の内藤憲一事務局長0152-43-1462へ。